

学校教育目標

生徒一人ひとりが互いに尊重し合い、心のかよう人間関係を深める中で確かな学力、健康でたくましい体と人間性豊かな心を育み、自ら学び、考え、正しく判断し主体的に行動できる生徒の育成をめざす。

めざす学校像

「生徒も先生も楽しい学校」 スローガン「学び愛」 合い言葉「行動」「関わり」

活動方針

- (1) 学年を超えた仲間づくりやコミュニケーション能力の育成、目標達成に向け努力すること等を通して、社会性・人間性の育成を図る。
- (2) スポーツや文化活動に興味と関心を持つ生徒が、より高い水準の技能や記録等に挑戦したり、仲間と協力し合い友情を深めたりできる場とする。

① 学校教育の一環としての部活動

- (1) 部活動の設置
ア 本校教育の一環として、運動部活動を設置する。
イ 部活動の意義（ねらい）に立ち返り、保護者や地域の理解と協力のもと、生徒の自主性を尊重した部活動を実施する。
- (2) 部活動の方針の策定等
ア 毎年度、本活動方針を策定する。
イ 各顧問は、活動計画や活動実績を作成し、校長に提出する。
ウ 校長は、上記のア及びイを学校のHPへの掲載等により公表する。
- (3) 学校全体での共通理解と生徒・保護者及び地域等への周知
ア 教職員全体での共通理解や、顧問同士で意見・情報の交換を行い、指導方法の改善に努める。
イ 生徒・保護者及び地域に対して、活動方針や活動計画等を説明し、周知徹底する。

② 部活動を支える環境整備

- (1) 指導体制
複数の指導者による多面的な指導ができるようにする。専門性を有した外部指導者や部活動指導員の効果的な活用等、本校の実態に応じた工夫を行う。
- (2) 顧問会及び職員会議
各部の現状や課題を共有し、学校全体で課題解決に向けた取組が行えるようにする。

③ 発達の段階に応じた望ましい指導の在り方

- (1) 休養日の設定
1週間の内、土・日のどちらか1日と平日の休養日を計画的に設ける。
- (2) 活動時間の設定
ア 平日 2時間程度（朝練習をする場合は7時30分からとし、その時間を含む）
イ 休業日 3時間程度（休業日には学期中の土・日を含む）
* 考査発表・期間中は、活動は停止する。
* 最終下校時刻は、日没に合わせて設定し、17時45分終了、18時下校完了を最長とする。
- (3) 指導方法
各顧問は、当該競技や活動経験の有無に関わらず、「効果的な指導法」や「スポーツ医・科学を取り入れた指導法の研修会」等に積極的に参加するなど、指導者としての自覚を持ち、常に自らの指導力の向上に努める。
- (4) 体罰・不祥事等の防止
ア 体罰やセクシュアル・ハラスメント等は絶対に起こさない。
イ 活動に係る経費は、保護者の経済的負担に配慮し、保護者の理解を得る。また、その取扱いについては、細心の注意を払う。
- (5) 安全管理と事故防止
ア 生徒が常に安全に活動できるよう事故防止に努める。もし、事故が起きた場合は、「傷病等による緊急時のマニュアル」に従い適切に対応する。
イ 施設・設備・用具の点検項目に従い、定期的に点検・補修を行う。
ウ 環境条件（気温・湿度・急激な天候の変化等）に応じた適切な指導に努める。